ときわの島 いぜな

議会だより



令和4年度予算の原案可決 令和4年度予算 各予算構成グラフ 第1回定例会議決結果一覧 第1回臨時会議決結果一覧・議会の動き 一般質問ダイジェスト

議長のつぶやき・わたしの好きな伊是名島 キラリ★いぜなっ子・募金活動記事・編集後記



















議会チームも健闘!



令和4年度予算 総額で 50億8,797万円

■ 令和4年度 各会計予算額

区分	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	前年度比増減額	増 減 率
一般 会計	41億4,882万7千円	28億6,405万8千円	12億8,476万9千円 ↑	44.9% 🕇
国民健康保険	2億2,317万2千円	2億4,831万2千円	2,514万円 👃	10.1% 👃
後期高齢者医療	1,225万3千円	1,326万2千円	100万9千円 👃	7.6% 👃
簡易水道事業	2億3,514万3千円	2億4,550万7千円	1,036万4千円 👃	4.2% 👃
農業集落排水事業	2,902万7千円	6,660万5千円	3,757万8千円 👃	56.4% 👃
港湾整備事業	1,014万円	908万9千円	105万1千円 ↑	11.6% 🕇
船舶運航事業	4億2,033万8千円	4億245万6千円	1,788万2千円 🕇	4.4% 🕇
育 英 事 業	907万5千円	882万5千円	25万円 ↑	2.8% 🕇
	50億8,797万5千円	38億5,811万4千円	12億2,986万1千円 ↑	31.9% 🕇

3月定例会は3月11日から18日までの8日間の会期で開かれ、令和4年度の一般会計他、特別会計7件の予算について審議した。令和4年度は、定住促進住宅、小学校校舎改築事業、新庁舎建設事業など、大型公共事業の実施が予定されることから**前年度より12億円もの増額**となった。厳しい財政下において、村長提出議案30件と議員提出議案の発議2件が提出され、いずれも可決・同意しました。その中に20年ぶりとなる伊是名村の議会の議員の定数を定める条例の一部改正条例、現行10名を8名にする案が議員全員による発議として提出され、原案可決された。

Ⅰ令和4年度の予算の主な事業

企画政策課	6億5,410万5千円	新庁舎建設事業(継続)	耐震基準を満たしていない老朽化した役場庁舎の建て替えを行い、災害 時の指揮系統、情報発信等の防災活動拠点施設として位置付け、業務継 続性を確保した安心安全な新庁舎を整備する。
	1,452万8千円	消防車庫整備事業(新規)	災害時の防災拠点の庁舎移転に伴って、自然災害時の連携かつ円滑な防 災団活動の拠点施設として新庁舎に隣接して建設に向けた設計委託。
	9億901万5千円	伊是名小学校校舎改築事業(継続)	老朽化した校舎の改築を行う。(令和3年度からの継続)
教育振興課	3,120万7千円	学習支援事業(継続)	児童生徒の学力向上を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開設、学 習支援員の配置を行う。
	250万円	尚円王(金丸)誕の村整備事業(継続) (玉御殿保存修復整備設計業務)	玉御殿石段の保存修理を行うにあたり、事前の調査及び概算修理計画 を策定する。
建設環境課	1億9,055万円	定住促進住宅整備事業(継続) 他継続事業 2件	定住者の居住環境を整備するために1棟(3部屋)の住宅を整備する。 他道路メンテナンス及び南風線道路の改築工事を行う。
農林水産課	1億9,692万1千円	伊是名村土づくり支援事業(継続) (補助)他継続事業 1件	伊是名村糖業振興会へ堆肥購入費の補助及び伊是名漁港海岸整備事業
	8,022万円	農地耕作条件改善事業及び 他新規事業 2件	イシジュムイ原地区のほ場、及び陸上養殖事業、東部地区に於ける橋梁 (きょうりょう)の整備に向けた設計委託
住民福祉課	642万5千円	児童虐待·DV対策等総合支援 事業(新規)	(子ども家庭総合支援拠点)子ども支援の専門性を持った機関・体制で虐待のみならず、地域の全ての子ども・家庭の相談を受け、切れ目なく、継続的に支援し、関係機関につないでいく。 (子育て世代包括支援センター)妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援のために専門職員を配置して、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
	135万8千円	地域生活支援促進事業(<mark>新規</mark>)	地域で生活する障害者 (精神・知的・身体含む)、要援護者 (アルコール依存等) の社会復帰の促進及び社会経済活動への参加の促進を図るとともに、断酒が継続できるよう規則正しい生活、自分らしい働き方を支援し、日常生活における不安や対人関係を含む相談に応じ、必要に応じて関係機関等への連絡調整を行う。
商工観光課	5,501万9千円	観光地等クリーンアップ事業(継続)	魅力的な観光地として景観形成を図るため、観光施設等の美化作業を実施する。
	5,577万円	伊是名村自動車航送コスト負担 軽減事業(継続)	島民に対し、フェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。
	2,799万6千円	いぜな尚円プレミアム付商品券 事業(継続)	新型コロナウイルス感染症の影響により、本村を訪れる入域者が激減し村内の景気が落ち込んでいるため、入域者を呼び込む対策として、入域者を対象とした「いぜな尚円プレミアム付商品券」を販売し、需要喚起を促し地域経済回復を図る。

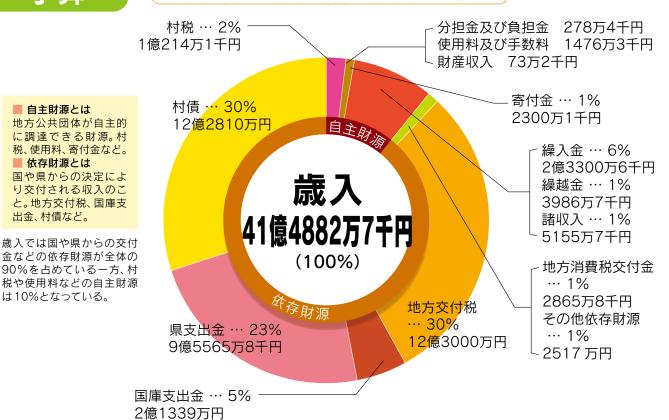
自主財源とは

依存財源とは

出金、村債など。

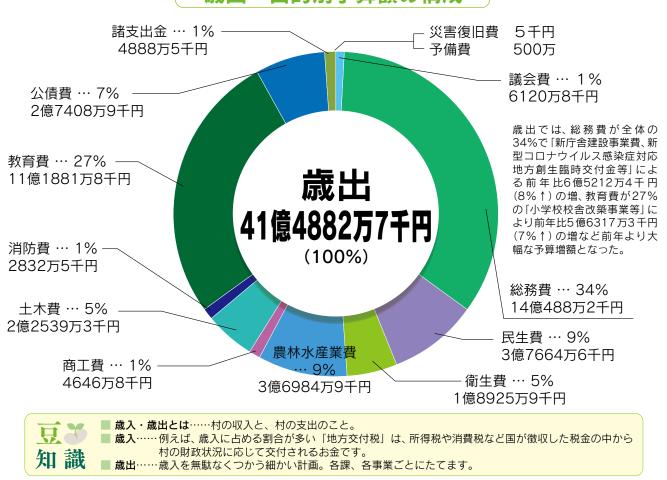
は10%となっている。

自主財源・依存財源別の構成



※グラフ中のパーセンテージは、小数点第1位以下を四捨五入し表示しています。

目的別予算額の構成 歳出





令和4年 第1回伊是名村議会定例会議決結果一覧

令和4年第1回伊是名村議会定例会は、3月11日~18日までの8日間で開催された。本定例会に提案された議案は32件、承認1件、報告2件、同意2件、発議2件、一般質問には7名の議員が登壇し村政について質問した。議決結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第1号	令和3年度 伊是名村一般会計補正予算(第6号)	182,697千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ 3,379,676千円とする	原案可決
議案第2号	令和3年度 伊是名村国民健康保険特別会計補正 予算(第3号)	51,705千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 222,651千円とする	原案可決
議案第3号	令和3年度 伊是名村簡易水道事業特別会計補正 予算(第3号)	3,350千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 239,269千円とする	原案可決
議案第4号	令和3年度 伊是名村農業集落排水事業特別会計 補正予算(第3号)	2,472千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 67,988千円とする	原案可決
議案第5号	令和3年度 伊是名村港湾整備事業特別会計補正 予算(第2号)	380千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 15,999千円とする	原案可決
議案第6号	令和3年度 伊是名村船舶運航事業特別会計補正 予算(第3号)	6,554千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 385,902千円とする	原案可決
議案第7号	令和3年度 伊是名村育英事業特別会計補正予算 (第1号)	1,537千円を減額し、総額を歳入歳出それぞれ 7,288千円とする	原案可決
議案第8号	令和4年度 伊是名村一般会計予算	令和4年度予算総額 4,148,827千円	原案可決
議案第9号	令和4年度 伊是名村国民健康保険特別会計予算	令和4年度予算総額 223,172千円	原案可決
議案第10号	令和4年度 伊是名村後期高齢者医療特別会計 予算	令和4年度予算総額 12,253千円	原案可決
議案第11号	令和4年度 伊是名村簡易水道事業特別会計予算	令和4年度予算総額 235,143千円	原案可決
議案第12号	令和4年度 伊是名村農業集落排水事業特別会計 予算	令和4年度予算総額 29,027千円	原案可決
議案第13号	令和4年度 伊是名村港湾整備事業特別会計予算	令和4年度予算総額 10,140千円	原案可決
議案第14号	令和4年度 伊是名村船舶運航事業特別会計予算	令和4年度予算総額 420,338千円	原案可決
議案第15号	令和4年度 伊是名村育英事業特別会計予算	令和4年度予算総額 9,075千円	原案可決
議案第16号	工事請負契約の変更について (伊是名製糖工場季節工員宿舎新築工事)	建設工事請負契約金額の変更 伊是名製糖工場季節工員宿舎新築工事 元契約に対する変更額:19,395,200円 変更契約額:137,095,200円 (株)明成建設	原案可決
議案第17号	伊是名村総合計画 (基本構想) の策定について	長期的展望及び総合的かつ計画的に村政を運営 する基本的指針となる伊是名村総合計画を定め るため	原案可決
議案第18号	伊是名村教育長の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例	教育長の勤務時間、休日及び休暇に関すること並びに職務に専念する義務の特例に関することを まとめて規定するための条例の制定	原案可決
議案第19号	伊是名村教育支援委員会設置条例	伊是名村教育支援委員会の設置にあたり運営に 関する必要事項を規定する条例の制定	原案可決
議案第20号	伊是名村国民健康保険条例の一部を改正する条 例	健康保険法施行令等の一部を改正する政令の改正に伴い、条例の一部改正	原案可決
議案第21号	伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全世代対応型の社会保障制度を構築するための 健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和4年4月1日から未就学児の均等割保険 税の軽減措置が講じられるため、条例の一部改正	原案可決
議案第22号	伊是名村定住促進住宅条例の一部を改正する条例	定住促進住宅仲田2号棟・内花1号棟の建築完成に伴い、伊是名村定住促進住宅条例の一部を 改正する条例	原案可決
議案第23号	指定管理者の指定について (伊是名製糖工場季節工員宿舎)	伊是名製糖工場季節工員宿舎の指定管理者の指 定	原案可決

議案番号	件名	議案等の概要	議決の	の結果
議案第24号	伊是名村議会議員及び伊是名村長の選挙におけ る選挙運動の公費負担に関する条例	公職選挙法の一部を改正する法律が公布され、 施行されたことから新たに伊是名村議会議員及 び伊是名村長選挙における選挙運動の公費負担 について定めるための条例の制定	原案	可決
議案第25号	伊是名村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	行政手続きにおける特定の個人を識別するため の番号の利用等に関する法律の改正に伴い、条例 を一部改正	原案	可決
承認第1号	専決処分の承認について 「定住促進住宅仲田2号棟、内花1号棟建築一式 工事(R2)」	建設工事請負契約金額の変更の承認 「定住促進住宅仲田2号棟、内花1号棟建築一式 工事(R2) 元契約に対する増額:9,020,000円 変更契約金額:123,420,000円(有)マル井建設	承	認
報告第1号	専決処分の報告について 「村道南風原線道路整備工事(R3-1)」	建設工事請負契約金額の変更報告 村道南風原線道路整備工事(R3-1) 元契約に対する減額:1,834,800円 変更契約金額:49,865,200円(有)タカラ建設	報	告
報告第2号	専決処分の報告について 「伊是名村簡易水道事業配水管布設替工事(R3 -1工区)」	建設工事請負契約金額の変更報告 伊是名村簡易水道事業配水管布設替工事(R3-1工区) 元契約に対する増額:2,222,000円 変更契約金額:91,322,000円 東和建設(株)	報	告
同意第1号	教育委員会委員の任命について	西 正幸 氏	同	意
同意第2号	監査委員の選任について	髙良 修 氏	同	意
発議第1号	伊是名村議会の議員の定数を定める条例の一部 を改正する条例	伊是名村議会議員の条例定数を現行10人から8 人にする条例	原案	可決
発議第2号	ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対し抗議し、 早期停戦・撤退と平和的手段による早期解決を 求める決議	ロシアに対し、ウクライナへの侵攻、軍事行動を 直ちに中止するよう求めるとともに、制裁措置の 徹底及び強化を図り、ロシア軍の即時撤退を強 く要請する抗議決議	原案	可決

令和4年 第1回伊是名村議会臨時会議決結果一覧

令和4年第1回伊是名村議会臨時会は、3月31日の1日間で開催された。本臨時会に提案された議案は 1件です。議決結果は次の通りです。

議案番号	件名	議案等の概要	議決の結果
議案第26号	令和3年度伊是名村一般会計補正予算(第7号)	歳入歳出の補正はなく、繰越明許費の金額の変更	原案可決

議会の動き 令和4年3月~5月 3月 4日(金)·北部広域市町村圏事務組合議会 16日(土)・臨海ふれあい公園広場遊具及び健康 第59回定例会(議長) 北部会館 器具 安全祈願(議長) 3月 8日(火)・全員協議会 22日(金) ·沖縄振興拡大会議(議長) 議会運営委員会 沖縄県武道館 5月11日(水)·広報調査特別委員会 11日(金)·令和4年第1回伊是名村議会定例会 (~3月18日(金)) 15日(日)·沖縄復帰50周年記念式典(議長) 12日(土) · 伊是名中学校卒業式(議長) 沖縄コンベンションセンター 17日(木)・伊是名小学校卒業式(議長) 16日(月)·広報調査特別委員会 25日(金)·国頭村役場新庁舎落成記念式典(議長) 19日(木)・北部基幹病院の県説明会 4月 4日(月) · 公事清明祭 国指定重要文化財「玉御殿」 26日(木) · 北部広域市町村圏事務組合議会 ・教職員顔合わせ会 産業支援センター 第58回臨時会(議長) 北部会館 7日(木)·伊是名中学校入学式(議長) ·北部市町村議会議長会 第1回定例 8日(金) · 伊是名小学校入学式(議長) 総会(議長·局長) 名桜大学北部生涯学習推進センター 15日(金)・第5回伊是名村モズク拠点産地認定 記念グラウンドゴルフ大会 30日(月)·町村議会議長·副議長研修会(議長· 伊是名村臨海ふれあい公園グラウンド 副議長) 東京国際フォーラム





航路



東江 かつのぶ **克伸** 議員

テルが点在しており、立地条 港周辺には多くの飲食店やホ に往来できると考えます。そ ほど超過することなく本部港 波を乗り越え、航路時間もさ の船行能力をもってすれば高 の影響だと聞いています。 島沖で時折発生する高波など の理由は時間の短縮、本部半 して現運天航路と比べ、本部 今の「フェリーいぜな尚円」

> 村長の見解を伺います。 に資すべきだと考えますが 天港航路から本部港航路に変 利便性向上と村の発展

る伊是名、運天港間は昭和63

ついて。本村の生活航路であ

フェリーの航路変更に

東江克伸議員

件に優れています。現在の運

前田政義村長

変更した経緯があります。そ 年10月に本部港から運天港へ

まれます。 利用者にも過重な負担が見込 その分燃料費も倍増する上、 度長くなると予想されます。 を迂回する航路では約25分程 分程度長くなります。瀬底島 比較し、乗船時間にして約15 本部港航路は運天港と

思いますが、自家用車での移 動では距離も時間も同程度と 陸路の利便性は高くなると



フェリーいぜな尚円

事業があり、20万トン級のク と思います。 観光客の方も通っていて、観 には美ら海水族館に行かれる ルーズ船が寄港するバースと よる国際クルーズ拠点形成 光面でも村にメリットがある ています。さらに本部港周辺 ターミナルビルを造ると聞い

ます。 港へのアクセスは向上してい により、中南部地域から運天 予想され、名護東道路の開通

仮に航路変更を考えた場

す。 船員に負担をかけてしまいま 船しなければいけなくなり、 風時には羽地内海奥地まで操 る運天港バースが使えず、台 ある上、優先的に使用してい 整備が全く見通せない現状で 合、本部地域におけるバース

と考えています。 を変更することは大変厳しい 従いまして、現時点で航路

東江克伸議員 本部港には官民連携に

でしょうか。 民投票などで問うのはいがが 航路変更について、住

東江克伸議員

前田政義村長

うかについては、私の任期中 はできないと思っています。 住民投票をするのかど

就航したと考えて、あの周辺

是名村・伊平屋村も本部港に 例えば本部町・伊江村・伊

に道の駅や物産センターを造

につながり、島の新しい産業 売もできます。売り上げ向上 れば、そこで島の農産物の もできるのではと思います。

ますがいかがでしょうか。 と、本部港の方が良いと思い りにもなると思います。5年、 りを、4町村で本部港で開催 10年後の村の未来を考える すれば、インパクトのある祭 な運天港まつり」のような祭 今現在開催している「いい

前田政義村長

と考えています。 は現航路を維持していきたい ると予想されます。私として すと、諸経費がかなり高くな 今の燃料の高騰などからしま いは利用者村民に過重な負担 に、船舶船員の福利厚生ある の増大が予想されますし、昨 申し上げましたよう

度施政 針

- 者福祉 上高齢

じょ ほ う 場防風林帯 忚



けった。 しょうとく **正徳** 議員

護師住宅の建設要望書が県に

是名診療所建替、医師住宅、看

提出されているが、箇所は現

ないか伺います。 前田政義村長

候補地として盛り込む考えは 跡地が適地と考えるが、第一 に示してない。旧庁舎となる 地か移転先は村として具体的

討してまいります。 り込むことが可能かどうか検 考えております。具体的に盛 傍に移転した方が望ましいと の利便性を考慮した場合、近 負担になる予想される。村民 代替地が必要であり、財政的 ませんが、建て替えとなると 現段階においては検討してい 建設予定地については

伊禮正徳議員

①2021県平均高齢化率と 齢となる2025年問題に突 人しています。 ②団塊の世代が後期高

護など社会保障費の急増が懸 念されるという、村にはどの ③2025年問題は医療や介 ような課題に直面するか伺

(1)県立北部病院附属伊

伊禮正徳議員

②について広域連合の資料 9・8%上回り、県内では8番 は32・4%と県の平均に比べ に減少していく傾向にあると 34・5%と予測され、緩やか 齢化数442名高齢化率が り、高齢化率は3・8%に達 によると471名となってお 目に高い村になっています。 齢化率は2・6%、伊是名村 し5年後の2030年には高 ①について沖縄県の高

でいくと給付費も増加して③について高齢者が増加し 組んで行きたいと考えていま づくり、介護予防事業に取り 向け住民同士で支え合う体制 包括ケアーシステムの構築に 援が一体的に提供される地域 医療、介護予防、住まい生活支 まで続けることができるよう 地域で自分らしい人生を最期 護状態になっても住み慣れた 2025年に向けて重度な介 いく傾向が予測されます。

伊禮正徳議員

②2025年以降ピーク時の

村高齢化率を伺います。

高齢化数と率の予想を伺いま

とは日々の隣近所や地域の通 いの場が求められていると言 護になりにくいとされる事業 伺えます。検証によると、介 事業等により認定率も減少と ③について最近は予防

考えます。 えることが喫緊の課題と思い 状況ですが、専門員体制を整

見解を伺います。 職人材が必要である、村長の 第一に考えた場合、福祉専門 も迫っています。村民の健康 このように高齢者問題

前田政義村長

ます。 考えています。努力して充実 した形に取り組みたいと思い 福祉増進に努めていきたいと 専門職を採用して村の

伊禮正徳議員 仲田地区圃場

帯の役割は厳しい。今後の 草が生い茂り、稙木は生育が 策、管理体制を伺います。 風害から作物の風食を防ぐ林 目立つ現状では将来にかけ、 低い。防護柵は壊れた箇所も 備されているが、植栽後は雑 う) 整備地区に防風林帯が整 (ほじょ

ターには人材の確保が厳しい ターと地域保健包括支援セン 者等の生活を担う村保健セン 向けて特に医療や介護、高齢 れています。諸々の体制に れた状況であり、今後は枯れ 雑草が生い茂り防護柵も壊 理を外注しています。しかし

除草剤散布や草刈り管

ます、体制づくりを伺います。 諸見美奈子住民福祉課長

て再整備できるよう補助メ た部分や壊れた防護柵につい

ニューを模索して行きたい

伊禮正徳議員

きると考えます。 ばより充実した福祉事業がで 士、理学療法士が配置されれ 社会福祉士、介護福祉

いるか伺います。

れたか、何%の生育率とみて

何種類の苗木が植栽さ

生育は5割もない印象で 7種類を植栽していま 前田秀光農林水産課長

伊禮正徳議員

伊禮正徳議員

産につなげるよう期待します。 家からは不満の声もあります。 確認できない。植え替えして 林帯の効果を出してほしい。農 地の保全に努め農産物の増 7種類の木はほとんど



仲田地区圃場防風林帯







化の継承支

観保

の除去管理徹底

購 齢性難聴



東江 _{きょかず} 清和 議員

が、どのような事業が実施さ 実施されてきた」とあります や教室の開設並びに事業の ①「村民ニーズに応じた講座 興支援について、伺います。

りますが、伝統文化等の指導 の養成や確保に努める」とあ との連携、各種活動の指導者 的な知識や技術を持つ方々 (2)「村内在住の伝統等・専門 化を指しているのか。 者養成とはどのような伝統文

照屋巧教育長

教室、 活動団体については、地域に 教室、英会話教室があります。 鼓、三線教室、レクサークル ラス教室、大正琴教室、尚円太 在住する伝統文化に精通する れた事業で8教室あり、コー フラダンス教室、習字 社会教育事業で実施さ



す。

してまいりたいと考えていま

隣接、両側に公園、伊瀬名ナー ところが漁港内白地が浚渫 れ観光名所になっています。 岸につながる風光明媚に優 加工施設、背後にマッテラ海 人、伊瀬名湊橋、観音堂、水産 持について、当漁港は集落に (しゅんせつ) 石材や雑草やギ 伊是名漁港内の景観保 討してまいります。 育成が図られるものと考え検 伝統文化の継承及び指導者の 方々を指導者として依頼し、

主要施策から、教育文化の振

東江清和議員

令和4年度施政方針

東江清和議員

援が必要です。 それらしき団体が見えない予 ていく状況、行政の後押し支 俗文化の継承がだんだん薄れ 念です。若い世代になって民 いて行政の支援がないのは残 域に残る民俗文化の支援につ 予算へ反映されていない。地 算計上もされてない、施策が みると尚円太鼓に5万円、他 本年度の社会教育費を

照屋巧教育長

きたいと思います。 予算を検討して後押ししてい 落地域の行事について、今後 教育委員会として各集

東江清和議員

補聴器が必要な高齢者(75歳

ている。現状をどのように見 ているか伺います。 し周辺環境に悪影響を及ぼし ンネム林に覆われ草ボーボー

前田政義村長

立て材として利用ができない 策を取っていく必要がありま ろしくお願いいたします。 か検討してまいりたいと考え している埋め立て予定地の埋 す。漁港海岸整備事業で実施 た利用を行うため撤去等の対 ていることは承知しています。 等に覆われている状況になっ ていますので、ご理解のほどよ 村として土地利用計画に沿っ 指摘のとおり雑草雑木

東江清和議員

多いようであります。そこで、 担から購入を控えている方が 価格が高価で数万円から数 難聴者は補助対象外のため、 度がありますが、障害に該当 害者総合支援法による補助制 聴者が補聴器購入する際は障 ついて、身体障害者手帳が交 十万円補聴器購入は経済的負 付されている高度、重度の難 しない中等度、軽度の加齢性 補聴器代の購入補助に

件について新聞社(琉球新報) 者を対象に補聴器の購入補助 調査が行われたようでありま 助の独自の取り組みについて から各市町村に補聴器購入補 める予定で進めている。その 様の制度を令和4年度から始 を独自に補助。 ようと、那覇市は加齢性難 以上) の経済的負担を軽減

前田政義村長

たか伺います。

についてどのように回答され す需要調査、補聴器購入補 るいは補聴器が必要とされま の加齢性難聴者等の把握、あ した。その件について、高齢者

助

ます。今後実態を把握し検討 予定がないと回答をしており 聞社のアンケートには、現在 につきましては、先だって新 3点目の補聴器代の購入調査 いきたいと考えております。 ん。今後の実態把握を行って ついて調査もされておりませ が必要とされる需要調査に おりません。2点目の補聴器 聴者についての把握はして 1点目の中等度、軽

南風原町も同

聴

Question & Answer

老朽化した公共施設の 整備



ょしひで 義秀 みや ぎ 宮城

され、多くのイベントや修学 どの臨海ふれあい公園が整備 きました。 旅行生の受け入れに寄与して 屋内プール・屋外ステージな ミナルをはじめ臨海体育館 した臨海施設は、仲田港ター しかし、施設は整備から25 本村の仲田港を中心と

では剝離した赤瓦が無残な姿 被害などもあり、ターミナル 年以上経過している上に塩害 館では外壁のコンクリートが をさらしています。また体育



·部剝がれている様子 (臨海ふれあい体育館)

具などの整備を令和3年度に て公園ケアラーの健康広場で 画が策定され、それに基づい 名村臨海施設機能強化基本計 平成28年度において、伊是 一括交付金を活用して、遊

備を進めていく考えですが、 国や県との調整で臨海施設の 今後も基本計画に基づき整

して危険な状態です。 剝離し、玄関や出入口に落下

どにより機能強化及び長寿命 は、平成28年度において伊是 する考えはないか伺います。 村長の任期最後の年に、実行 んどが実施されていません。 していますが、これまでほと 的な財政負担の軽減も図ると 化を図るとしています。将来 画を策定し、各施設の修繕な 名村臨海施設機能強化基本計 じめとする臨海施設について この仲田港ターミナルをは

前田政義村長

再整備が必要だと考えていま となっており、早急な修繕や いては、老朽化が著しい状況 海ふれあい公園施設などにつ 仲田港ターミナルや臨

完了しました。

北部振興事業の 宮城義秀議員

他どのようなことが可能なの 課長に伺います。 か、事業を担当している所管

前川栄進企画政策課長

北部連携振興事業計画におい て、令和5年の新規要望とし て臨海ふれあい公園を挙げて 令和4年から始まる

神田宗秀商工観光課長

5年新規に向けて進めていき りのことに関しても、さらに 能強化の一部改定ということ たいと考えております。 で、 いくために計画策定し、令和 詳細に北部振興事業にのせて 体育館施設などそのあた 公園費の臨海施設機

持修繕の範囲ではないかとの 一部は機能強化ではなく、

整備に努めてまいります。 業メニューでの整備ができる 債事業での修繕も視野に入れ 長寿命化を図る観点から、起 ようさらに努め、公共施設の 計画の精度を高めて補助事

ニューについて、一括交付金

ては、 廃止になっています。

宮城義秀議員

ラ施設・道路などの整備につ いて、改めてその道筋を村長

前田政義村長

要があると思っています。 公共施設の整備はしていく必 私の思いとして、今後 きる形で、今後進めていきた の特別枠などにエントリーで 現在取り寄せております。そ は、一括交付金などの資料も ターミナルの修繕に関して また企画の方との調整

宮城義秀議員

いと思います。

関する補助メニューは今ない でしょうか。農林水産課長に 各農村公園、集落道に

いう補助メニューについては して存在します。農村公園と 現在も補助メニューと 集落道整備事業につい 前田秀光農林水産課長

に伺います。 村の公共施設・インフ

立てていきたいと考えていま その観点を関係各課に伝え ぜひ実効性のある計画を





廃棄物処理



なかだ まさむ 議員

仲田正務議員

月定例会において東江清和議 です。この問題は令和2年3 理をせざるを得ないのが現状 入れ施設がないため、島外処 と感じます。しかしながら本 の設置はできないか村長の見 有地または個人有地等を活用 でいるところであります。村 負担軽減につながり大変喜ん 和3年度から島外への海上輸 員も一般質問に取り上げ、令 村にはコンクリート殻等の受 面でもだいぶ良くなっている 意識も徐々に高まり環境衛生 たコンクリート殻等の仮置場 して、一般家庭から搬出され に伴い、村民のゴミ分別等の 般ゴミ処理施設の供用開始 本村は平成23年度

送費の一部を助成し、村民の 解を伺います。

前田政義村長

制度を活用し、コンクリート において2名の方が本補助金 タートから本年2月末時点 理に係るフェリー輸送運賃 ます。しかしながら制度がス の助成を行っており、制度ス ら一般廃棄物として取り扱 殻等の島外処理を行っており い) コンクリート殻の島外処 から、多くの村民の皆様がご /ートしてまだ間もないこと 村では(令和3年度か

> おります。 検討してまいりたいと考えて 担軽減を図る意味からも今後 のリサイクル促進、村民の負 すが、不法投棄の抑制、廃棄物 置場の設置についてでありま 員ご質問のコンクリート殻仮 いと考えております。さて、議 金制度の周知を図っていきた 活用いただけるように本補助

仲田正務議員

縄本島の最終処分場で個人で 思いますが見解を伺います。 えはいまだ変わってないかと らっしゃいますか。その時の考 弁しています。村長覚えてい ことを検討している」とも答 い、村がまとめて処理をする しています。また「処分費用の きるストックヤード等を整備 担軽減のために一時仮置きで 処理している。今後は村民負 処理施設では処理できず、沖 が混在したものは現在のゴミ リートやブロック、瓦、木材等 こう述べております。「コンク 物等の現状と今後の対策に に対して、家庭から出た廃棄 会において名嘉清議員の質問 村長は、平成25年第4回定例 したいと考えている」と、答弁 部を利用者に負担してもら この家庭廃棄物問題を

確かに議員おっしゃる 前田政義村長

理の方法それについてもっと う状況下であります。その辺 ながら県との話をする中で、 答弁したわけであり、しかし おります。当時はそこだった を重ね、設置する場所も特定 は県当局ともいろいろと協議 ということについては、これ のところはまた今後、その処 なかなかそれも難しいとい ら大丈夫だろうという考えで しなければいけないと考えて て、すぐに仮置場を設置する

仲田正務議員

たいと考えています。

突っ込んだ形で進めてまいり

が良いと考えますが、いかが る廃棄物等の一時仮置き用の あります。そこに家庭から出 ト殻は島外へ、木材は処分場 木材等を分類してコンクリー を利用して、コンクリート、 今回村が購入したバックホー ストックヤードを併用して、 左側の方に結構広い敷地が 案ですが、現処理施設入口の の話がありましたが、私の提 あります。また設置する場所 受け入れをやっている状況で 島は村の方で敷地を確保して へと持ち込めば非常に効率 南大東島、隣の伊平

ます。ただいまの現状からし とおりであります。私もその ように答弁した覚えがござい ですか。

辺は今後の検討になると思い やっていけるかどうか、その あるいは一般廃棄物施設で その部分をクリアできるか、 ない部分があると思います。 的な面でクリアしないといけ 透を防ぐ等々の、いろんな法 けない。あるいは地下への浸 ますか、それを防がないとい 限、ネズミや蚊の繁殖と言い ですけど、積上げの高さの これも法的なものではあるん 仮置きするにあたって

仲田正務議員

せてはいけない問題だと思っ れをいつも検討だけで終わら ています。 はかかえているのですが、こ この課題を沖縄の離島

前田政義村長

ております。 調整をしてまいりたいと考え するのか今後、具体的に県と すし、そういったことをクリ 調整、法的な手続きもありま 答弁ありましたように県との ませんけど、先程課長からも も、また検討しなければいけ うするということについて そしてどのような形で仮置き アしながら場所を選定する。 検討ではなく実際にど

末吉長吉建設環境課長



ラインの整



_ _{ひでかず} 秀和 議員 前川

利用していますが、駐車ライ 点からも、早急に整備が必要 す。安全を保ち事故防止の観 を止める光景を多々目にしま いる状況であります。イベン いては、駐車ラインが消えて れあい体育館西側駐車場にお ンがないため入り混じって車 ト開催時には多くの利用者が について質問します。臨海ふ 駐車場のライン整備

前川秀和議員

ます。

と思います。

路があり、非常に危険を感じ ます。そして下の方には排水 なく擬木柵だけとなっており 止めがありますが、西側には また南側駐車場にはタイヤ

す。村長の見解を伺います。 く併わせて整備が求められま られておりますが、形跡がな ても障害者専用駐車場が設け またどこの駐車施設におい

(臨海ふれあい体育館西側駐車場) 視察の様子

をしてまいります。 者の安全確保の観点からも、 状態であります。駐車場利用 ていますがほとんど未設置の めについても、一部設置され 整備できるよう関係課と調整 また障害者専用駐車スペー

場所を選定し、整備できるよ うに努めていきたいと考えて スについても、利便性のいい

前田政義村長

状況を確認しております。 ラインがほとんど消えている 前川議員のご指摘のとおり、 側駐車場のラインについて、 臨海ふれあい体育館西

また西側排水路沿いの車止

形になります。 になりプラスアルファという 車止めについては、また別

前川秀和議員

理解をしております。 課長からも説明がありまして す。一部通路として利用され 前中に視察を終えたところで ているところがあると、担当 車止めにおいては、午

したいと思います。

前川秀和議員

お伺いします。

できないのか、そのあたりを

くらいの費用が想定されるの みに整備するとなると、どの とで理解しております。ちな か、課長にお伺いします。大体 の金額で構いません。 整備を進めるというこ

神田宗秀商工観光課長

員会などへの補助金が、イベ

いてお答えします。実行委

イベントなどの予算に 神田宗秀商工観光課長

ントにかかる部分の費用とな

います。 算などをお知らせしたいと思 を調べて、大まかな概算や予 距離になります。後ほど単価 離的なものは調べておりまし ておりません。現状の白線距 て、大体1キロを少し超える 正確な金額はまだ出し

えます。

その予算での整備になると考 園費などで予算措置をして、 に関しては、臨海ふれあい公 ります。なので施設的な整備

前川秀和議員

早めの対応をよろしくお願い とか通路はきれいであったか つだと思っておりますので、 のあたりも観光景観の中の一 という問いがありました。そ その中の一部において、道路 調査が行われたと思います。 つい最近、観光満足度

す。早急に予算化をして対応 なども開催されると思いま するようにお願いし、私の質 今年は3年目で、 イベント

われておりません。イベント などは予算活用でできるのか ここ2カ年はイベントが行 問を終わります。





役場職員の退職者増



東江 まとなり 源也 議員

前田政義村長

なっているようです。

去年から今年と退職者が多く

ついて村長にお伺いします。

役場職員の退職者増に

東江源也議員

面談を行っています。 因究明のために退職者個々に き事態だと認識しており、原 離職者の増加は由々し

えています。 くりを目指していきたいと考 など、働きやすい職場環境づ スの充実やストレスチェック 職員のワークライフバラン



東江源也議員

て伺います。 職員の採用方法につい

ます。採点と適応性検査は試 とめ、村長と副村長が合格者 験センターが行って結果をま の後に二次試験の面接を行い 応検査の合否判定をして、そ の判定を行う流れです。



東江源也議員

副村長などが直接本人と会っ て採用を決めるわけではない 合否判定の時、村長

ですか。 諸見直也総務課長

ません。 度の面接員で行い、副村長も ます。村長は直接は入ってい その中のメンバーに入ってい 面接は3名から5名程

判断はないのでしょうか。 います。役場ではそのような で決めている場合もあると思 企業ではトップの判断



ありません。 す。私が全般的にやることは その結果が私に知らされま にチェックと選考会があり、 ンターから答案が来て、さら す。試験採用の場合は試験セ の選考採用のケースもありま 専門職など、ある程度

東江源也議員

次試験・教養試験・職場適

採用に関しては、募集 諸見直也総務課長

ていますか。 と思うのですが、理由を聞い よっぽどの決意や覚悟がある てきます。途中で辞めるのは 多くが辞めていく、と聞こえ 30代の島の青年たちの

前田政義村長

詳細に聞いていますが、事情 先程申し上げたように

東江源也議員

総合的に合格の可否を判断し 先程お話した行程を踏まえて 職員を採用するには、

ません。 者を採用することは全くあり すので、私が独断で島の出身 それを受けて採用に至りま

東江源也議員

には、こちらから営業をかけ ていくのも一つの手ではない 島の人を多く採用する あります。 に突っ込んで引き止めるのは 人権問題に関わり難しい面が

うか。

前田政義村長

特殊な資格を持ってい

東江源也議員

考え、職員を採用すべきでは ないかと思います。 今後は長期的な計画を

前田政義村長

を欠くことのないよう、これ

しかし基本的には公平さ

機会もあります。

部署が出てくれば、選考する る方などを採用したいという

ています。 はなるべく引き留めますが 終的には受理することになっ 身上の都合ということで最 退職届を受理するまで

> て、その結果を判断して採用 まで通り試験を受けてもらっ

します。

東江源也議員

実際に島の人を呼び寄

東江源也議員

ないのですか。 毎年、島の出身者を何

でしょうか。そういう権限は 名か採用することはできない 前田政義村長

前田政義村長

てどうお考えでしょうか。 治体もあります。それについ せ、試験を受けさせている自

優秀な方がおられる場合も応 とが大事だと考えています。 公平さを欠いてはいけないこ 募してもらって、試験を通し 職員採用というのは、

て採用するかどうかを決定し



かと思います。いかがでしょ



議長のつぶやき

伊是名村議会議長の宮城です。村議会というと堅いイメージが あると思いますが、楽しいエピソードやほんわかするお話もあ るんですよ! 議員の奮闘ぶりもお伝えできたらと思います。

「トータビ」「唐旅に出る」遠方への旅を 琉球の時代から、「しばらく旅に出る」事 を言ったようだ。現在は本島に行くこと を「ナハに行く」で通る。

琉球大交易時代に護身術として育まれたのが、トウヌティ (唐手) = 空手である、空手発祥の地として沖縄は有名になった。島で空手をこよなく愛する武道家として名を挙げるなら、子どもたちに礼儀作法等熱血指導をしていた印象が強い、伊是名酒造所の社長、仲田輝仁さんである。鋭い眼光の奥に温厚な人柄がうかがえる。

昨年、常盤の酒がフランスでプラチナ 賞をいただき共に喜んだ。先人の薫陶を 受け、鍛練した賜物である。週5日島酒を 嗜むのも島産企業の応援、休肝日を意識 しつつ、瓶のラベルに書いてある通り飲 み過ぎに注意、酒の売り上げに微力なが ら貢献したい。「オッス」。

議長 宮城 安志



仕込みの様子

わたしの好きな伊是名島!

伊是名島の写真 大**募集!!**

1年半前に伊是名島に戻った島瑞紀さん。写 真の思い出を語ってくれました。

オバーとの味噌づくり

島に帰ってきて約半年後、おば一と一緒に味噌 づくりをした日の写真です。

"思い出は閉じ込めて生活するもの"と疑いもなく、それが大人の道と思っていたほんの数か 目前。

蒸された大豆の匂い、薪の火加減と向き合う 時間、木造家屋に膨らむ麹の香り。

人も街も全てが時とともに消え変化していく中で、島には私の思い出の全てが「今ここに」変わらずあり続け、心が温まり満ちていきました。

「おばー」という言葉も赤瓦もフクギも密接なコミュニティーも、テレビの中や観光地化された風景となった今、この島にはその全てが生活

空間の一部としてそのまま 残っています。正月、GW、何かの折に島を愛して帰っ てくる島の人が、この島に 惚れ、移住や定職、結婚、 旅をする全ての人がありの ままのこの島に癒やされ 満たされますように。



島 瑞紀さん







の強豪である一般の方に

交じって交流試合をし



ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹 介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は東京女子体育 大学に通う女の子です。

東京女子体育大学 上里しゅりさん (諸見) 体育学部体育学科(1年生)

ij

13 ぜ

ており、 を入れて取り組んだ部 りさんは高校生活でも りをしない性格のしゅ を決めました。人見知 がいる名護高校に進学 惹かれ、 関わったテニスの魅力に さんにお話を聞きまし 通っている「上里しゅり」 活動が強く印象に残つ い出を振り返ると、力 ました。高校生活の思 交友関係も広げていき 校の時に部活動として 体育学部体育学科に から東京女子体育大学 なっ子は、 積極的に輪の中に入り、 今 ゆりさんは、 П 有名な指導者 0 練習後に地元 今年の4月 丰 ラ



上里しゅりさん

ができ、 いし ります。 ろんな人に出会うこと 強を頑張ったほうがよ に進学できるように勉 分が魅力を感じた高校 ジをお願いすると、「自 の後輩たちにメッセー 夢を聞くと「大学卒業 の刺激をもらって毎日 たりできる。 い。 びました。大学生活を りたいという理由で、 スが強いステージでや 話してくれました。 入ることが夢です」と 後はテニスの実業団 くれました。 出来たり、 同期で多く、 東京女子体育大学を選 話してくれました。 した。 **充実している」と語って** たずねると「部活が楽 たことが良い思い しゅりさんに将 大学進学もよりテニ よい環境にいくとい 同じ目標の子が と話してくれま ぜひ頑張ってほ 考え方が変わ 気軽に話せ たくさん 深く練習 来 出 ح

中学

ウクライナへ募金活動



去る3月定例会で、「ロシア連邦に よるウクライナ侵攻に対し抗議し、 早期停戦・撤退と平和的手段による 早期解決を求める決議」の発議が提 出され可決された。そして今もなお 避難しているウクライナの方々のた めに、伊是名村議会議員がイオン琉 球を窓口にユニセフを通して募金活 動を行った。一刻も早くウクライナ の人々に平和が訪れるよう早期停戦 を願う。

ウクライナ情勢、国際社会手を取りあって戦争を抑えることができないのか。連日テ レビに映し出されるロシアの軍事攻撃、悲惨な戦争、ビルや建物への無差別攻撃、住民 が犠牲となる悲しさ、道路脇に埋葬されていく光景に心が痛む。なぜ今の時代に戦争な のか、独裁国の政治が恐ろしい。

毎日ニュースを見ているうちに感覚が麻痺し恐ろしさがだんだん薄れ普通に感じるようになった 自分の恐ろしさに自問自答させられる。

私たち日本も決して対岸の火事では片付けられない、争いを起こさない世界平和でありたい。

広報調査特別委員 副委員長 東江清和